

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成19年7月5日(2007.7.5)

【公開番号】特開2006-219114(P2006-219114A)

【公開日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-033

【出願番号】特願2005-314215(P2005-314215)

【国際特許分類】

**B 6 3 B 39/03 (2006.01)**

【F I】

B 6 3 B 39/03 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月15日(2007.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

船体の両舷に設定した一対の少なくとも2つのウイングタンク(3a, 3b)と、これらウイングタンクの底部に液体を左右方向へ移動させる液体通路(2)で連結すると共に、前記のウイングタンク上部に液体の制動を目的としたバルブ(5)等の手段を介して連通させる空気ダクト(4)と、液体通路内に減搖水槽の固有周期の可変を目的としたダンパ(6)等の手段を設け、更に、船の横搖角を検知し、その値を以て横搖れの単周期や平均横搖周期を演算し、更に制御信号等を出力するARTコントロール部(21)と、バルブやダンパを駆動させる開閉機器装置部(20)と、ART操作盤(19)とを具備した、液体(w)の移動または停止、或いは減搖水槽の固有周期可変操作を自動的に成し得る減搖水槽において、タンク内の液動を超音波あるいは超電波を発信し検知する液動検知部(11)と、検知部から出力される液動情報を解読する情報処理部(12)と、その情報を開示する表示器(18)と、必要に応じて警報を出す警報回路(16)と、その情報をARTコントロール部などへ送信する情報外部出力回路(17)からなる液動監視装置(10)によって誤操作の防止を可能とすることを特徴とする液動監視装置付き船舶の動搖軽減装置。